

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

2. 製品構成

- ・コントローラ(水色3) 1個
- ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット
- ・取付説明書 1セット

【付属品】 各配線で使用するコネクタや端子を指定しています。正しいものを使用して配線して下さい。



割込コネクタ(赤)
3個



接続コネクタ(黄) 4個
(オス・メスの区別はありません)

3. 配線方法

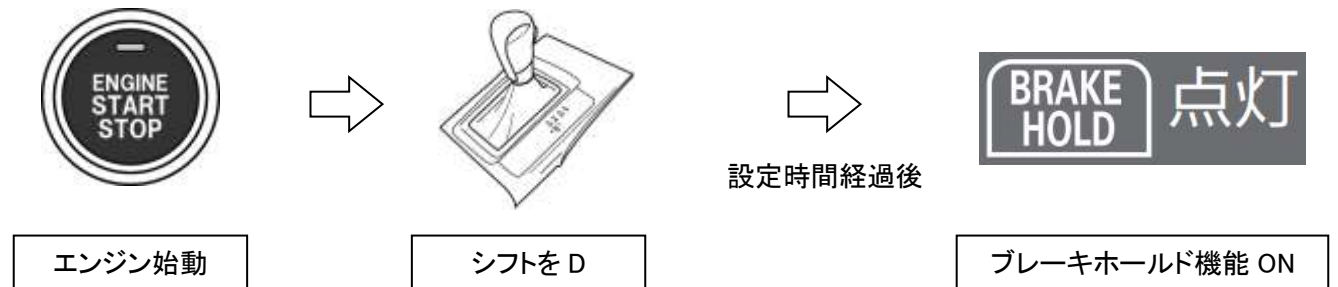
(詳細は別紙の結線図を参照して下さい。)

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	ACC またはIG電源へ接続。
③ 青	ホールドスイッチ線を切断したスイッチ側に接続
④ 緑	ホールドスイッチ線を切断した車両側に接続
⑤ (紫)	未使用。
⑥ (青/白)	未使用。
⑦ (緑/白)	未使用。
⑧ (紫/白)	未使用。
⑨ (茶)	未使用。
⑩ 灰	Pポジションまたはパーキングブレーキ入力。
⑪ (黄)	未使用。

括弧付きの線は、ロットによってはハーネスに含まれますが、この製品では使用しませんので、どこにも接続せずに絶縁して下さい。

4. 機能説明

エンジン始動後、シフトをPからDにすると、設定時間後にブレーキホールド機能がONになります。MT車の場合は、パーキングブレーキを解除してから設定時間後にブレーキホールド機能がONになります。



ブレーキホールド機能の作動条件

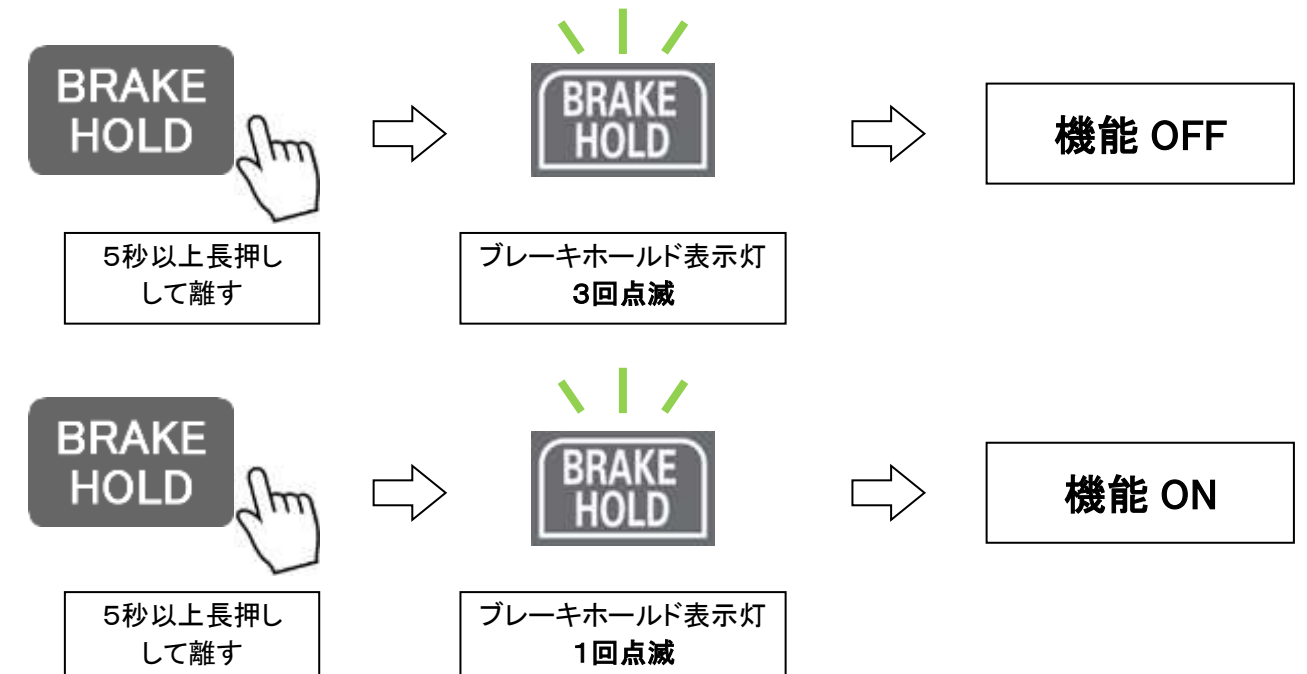
ブレーキホールド機能は、以下の条件を満たさないとONになりません。

- ・運転席ドアが閉まっている
- ・運転席シートベルトが装着されている

シフトをDにしてからシートベルトを装着されるような場合は、右面に記載しているDIPスイッチで「シフトをDにしてからブレーキホールド機能をONにするまでの時間」を延ばして下さい。また、走行中に運転席ドアを開けた場合や、シートベルトを外した場合は、手動でブレーキホールドスイッチを押して、ブレーキホールド機能をONにして下さい。

当製品の機能をOFFにする方法

エンジン始動中に車両のブレーキホールドスイッチの長押しで、当製品の機能をOFFにできます。機能OFFの状態でも長押しすると、再度機能がONになります。



5. 設定方法

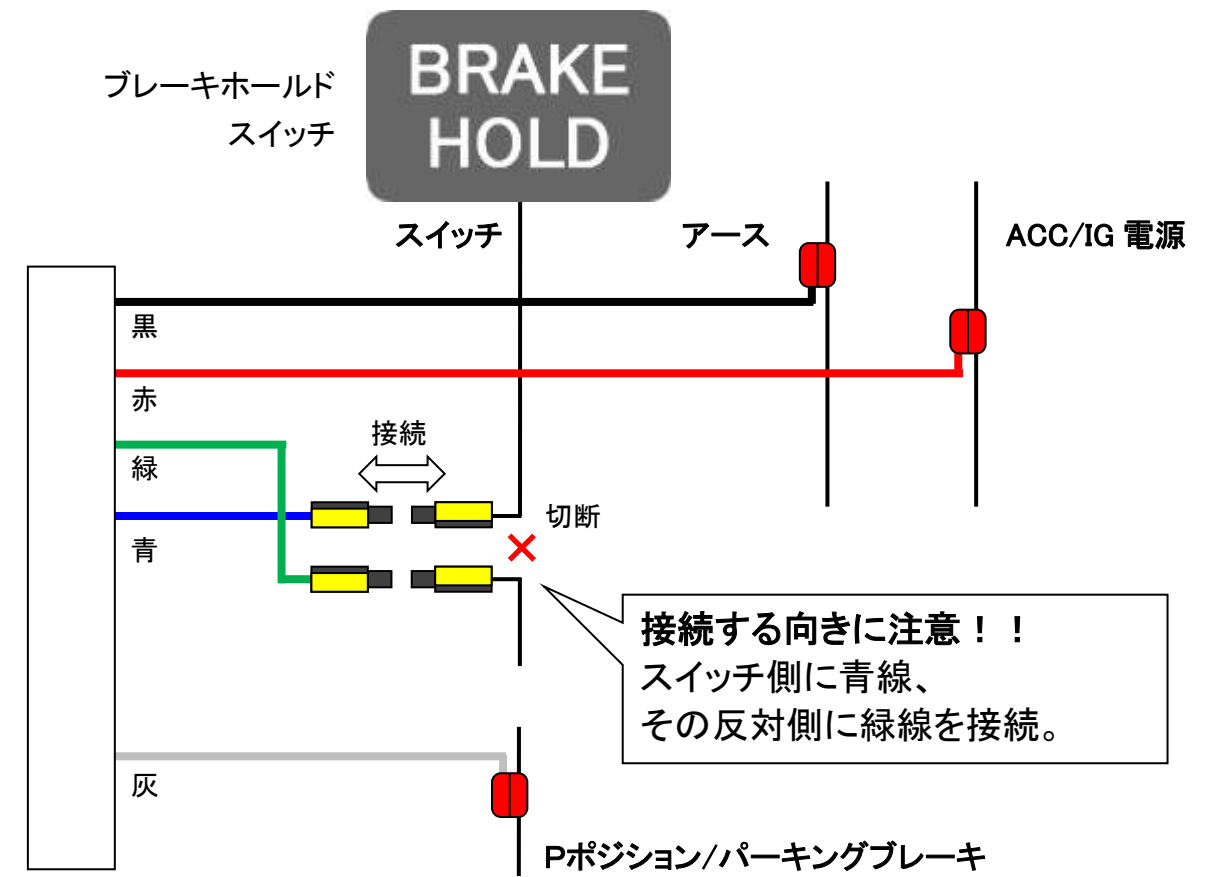
ケース内基板上の DIP スイッチで各種設定を変更できます。
設定の変更は、カプラーからコントローラを抜いて行って下さい。
DIP スイッチ3は未使用ですので、ON のままにしておいて下さい。



シフトを D にしてからブレーキホールド機能を ON にするまでの時間

	1秒 (初期設定)	10秒	30秒	60秒
DIP スイッチ1	ON	OFF	ON	OFF
DIP スイッチ2	ON	ON	OFF	OFF

6. 結線図



【参考】

配線に関しては、当社Webサイトで車種別配線資料を閲覧できます。**※本体に付属する取説にはここにパスワードが記載されています。**

https://cepinc.jp/chumon/brake_hold/honda_brake_hold_kit_info.html

